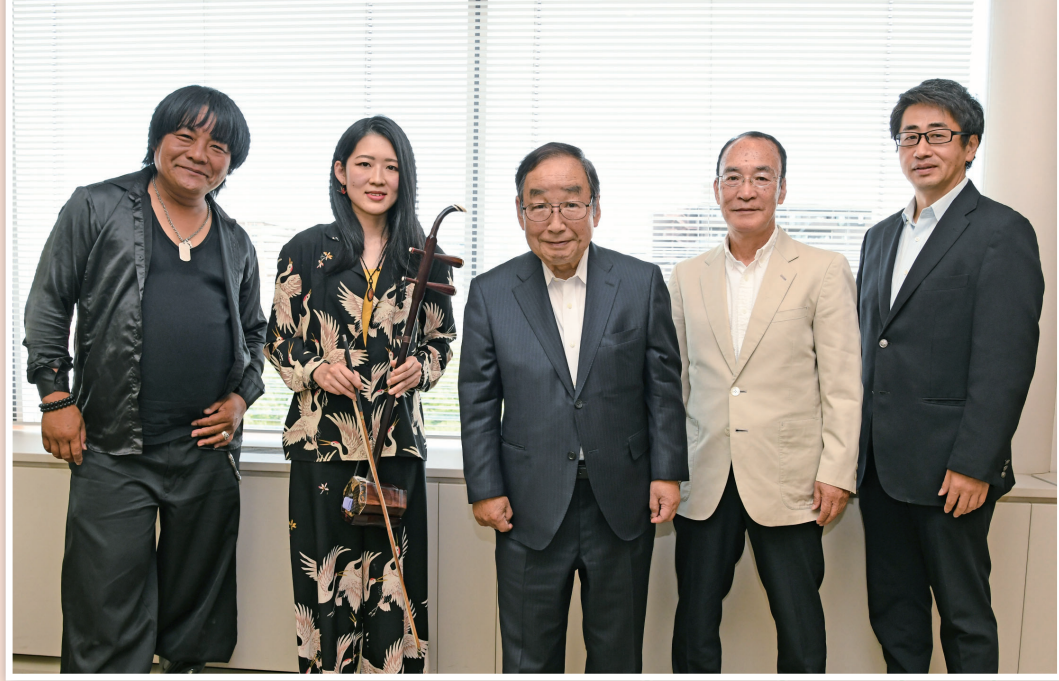


人が集い、音楽があふれるまちへ

# 音楽のある街・高崎



**本市**では、地域に根ざした音楽文化が育ち、市民主体の音楽活動が数多く行われています。まちなかの音楽の広がり、音楽のある街「高崎」として、まちの魅力の一つとなっております。今回は、音楽活動の最前線で活躍する皆さんをお招きしてお話を伺います。

**市長** 今日はお集まりいただきありがとうございます。今回は、「音楽のある街・高崎」をテーマに、まちなかの音楽活動にご協力いただいている皆さんにお越しいただきました。私が市長になった11年前は、「音楽のある街」というコンセプトの割に、街の隅々に音楽があるという感じはありませんでした。そこからさまざまな取り組みを行い、今では高崎駅から西口に出ると、何か音楽が聞こえてくるな、と感じられるようになりました。平井さんには高崎音楽祭をはじめ、市内の音楽イベントに広く携わっていただいています。「音楽のある街・高崎」が盛り上がってきている感じがしますよね。



富岡 賢治市長  
高崎を音楽があふれ、人でにぎわう街にしようとするさまざまな取り組みを行う

**平井** 群馬交響楽団ができた当時、映画「ここに泉あり」で描かれているように、多くの市民が音楽に関心を持ちました。その後音楽センターができ、さまざまなアーティストが出演してきました。今では、そこからさらにアマチュアの音楽活動にも目が向けられるようになってきていますね。

**市長** 「ここに泉あり」の頃の市民の熱気はすごかったんです。高崎は、自分たちの力で音楽を盛り上げようという熱意がある街なんですよ。商店街の人たちには、その熱意を引き継いで、音楽活動の支援を続けていただいています。矢嶋さんには若手のリーダーとして頑張っていたのですが、「おとまちプロジェクト」の盛り上がりはいかがですか。

**矢嶋** 音楽で街を盛り上げたいという思いのある人がたくさんいます。「おとまち」は今年10周年を迎え、出演者も増えました。今年も市内16か所で同時多発的にストリートライブを行う大型イベントの「どこもかしこも」を開催しましたが、広島県から参加してくれた人もいました。



平井 誠一さん  
第33回高崎音楽祭実行委員長。「おとまちプロジェクト」など多くの音楽イベントを手がける

**平井** ストリートライブは、他の自治体では禁止されることが多いですが、高崎ではウェルカムな雰囲気なので、参加者からも喜ばれています。

**市長** 今、ストリートで演奏できるところは少ないので、若いミュージシャンが演奏できる場所を求めて、高崎に来てくれるようになりました。皆さんの協力のおかげで、「音楽のある街・高崎」が全国規模に広がってきていますね。

**矢嶋** 今年の「どこもかしこも」では、高崎経済大学の学生さんがボランティアで入ってくれました。県内の学生団体が手伝ってくれたこともありました。

**市長** 地域活動に参加したいという学生は多いので、もっと参加してもらえるといいですね。続いては、伝説的なロックバンド・ボウイのメンバーの水室京介さんの物まね芸人として活動する、じぐる京介さんです。ボウイは、やはり影響力がありましたか。

**じぐる** 僕たちの世代は学生時代にコピーバンドをやっていた人が多いですが、周りはボウイ一色でした。僕も学生の頃バンドを組んでいて、今は氷室



矢嶋 伸也さん  
株式会社サウンドエコー取締役。高崎中部名店街理事長。数多くのまちなか集客イベントに携わる

京介さんの物まねをやっています。聞いてくれる人の中には、当時を思い出して泣いてくれる人もいます。こういう活動をしていて良かったなと思えますね。活動する場所を提供して下さる高崎市にも感謝しています。

**市長** 今度「拝啓BOのWY様」というイベントがあるそうですが、お客さんはたくさん来てくれそうですか。

**じぐる** ボウイが好きな人にとっ、高崎は聖地と呼ばれているので、県外の人からもこのイベントを機にぜひ高崎に行きたいという声を聞きます。

**市長** それはすごい。全国で公演しているのですか。

**じぐる** おかげさまで、先日は山形へ行って、今週末は福岡へ行ってきました。公演のときに上毛かるたやだるまをプレゼントするとすごく喜ばれます。公演と併せて地元群馬や高崎のPRも行っています。

**市長** それありがたいですね。さて、続いては伝統音楽で活躍されている秋山さんです。秋山さんはなぜ二胡を選んだのですか。

**秋山** 小学生の頃、市制100周年



秋山 さくらさん  
二胡奏者。「おとまちプロジェクト」の常連アーティスト。市内で二胡教室を主宰

**秋山** 皆さん音楽と出会って生活が充実している素敵だなと思います。私

**市長** 音楽のある街で育ったおかげで、県外で公演する機会に恵まれています。地元のPRにも貢献できて、こんなにありがたいことはありません。

の時にジュニアオーケストラに参加して音楽が好きになり、大学時代に二胡に出会ったのがきっかけです。

**平井** 秋山さんには、高崎の「おとまち」の代表として、交流のある自治体のアマチュアミュージシャンのイベントに出演してもらいました。小田原では大きな舞台で演奏したんですよ。

**秋山** たくさんの人が足を止めて聞いてくれました。

**市長** 路上ライブで活躍する若いミュージシャンには、タゴスタジオに入っ

て活動してきた人に、いつか高崎音楽祭で、音響と照明が整った高崎芸術劇場のスタジオシアターで演奏させてあげたいと思っています。

**じぐる** 「音楽のある街」で育ったおかげで、県外で公演する機会に恵まれています。地元のPRにも貢献できて、こんなにありがたいことはありません。



じぐる 京介さん  
ロックバンド・ボウイの氷室京介さんの物まね芸人。全国各地でステージを展開する

自身も二胡をとおして、人生がより輝いていったらいいと思います。

**矢嶋** おとまちプロジェクトが始まった10年前は2、3組ほどしか出演希望者がいなくて、お願いして出てもらっている状況でしたが、今では出演者の振り分けに困るほど増えました。「拝啓BOのWY様」もたくさんの人に見てもらいたいですね。

**市長** 音楽を通じて、高崎が目ざれるようになってきました。プレスリリースといえばメンフィス。ピートルズといえりバブル。高崎がメンフィスやリパブルのようにミュージシャンが育つ街になって、「あのミュージシャンが育った高崎を訪れて歩いてみたい」と思われる街になってほしいですね。今後も高崎の音楽を盛り上げていきましょう。本日はどうもありがとうございました。

対談の様子を動画で「ご覧いただけます」

新型コロナウイルス感染症対策を取り、参加者の皆さんの理解を得た上でマスクを外して撮影しています

